

2021年4月9日

2021年市長選挙

第1次確定マニフェスト 2021年4月2日

第2次確定マニフェスト 2021年4月9日

# 河村たかし

## ナゴヤ庶民革命『総仕上げ』

～税金を1円でも安く

日本最高の福祉をお届け～

2021年 五大公約

- ①日本1のコロナ対策
- ②子どもを1人も死なせないナゴヤ なんとでも実現
- ③敬老パスをより使いやすく。令和4年2月より対象拡大（JR、名鉄、近鉄、三重交通の市内区間）確定。  
市バス・地下鉄の乗り継ぎカウントは1回へ
- ④リニア大ナゴヤ『ウーブンシティ（人の移動をより便利に安全に）』  
ナゴヤ版実現。最先端大実験都市で産業・福祉 世界1ナゴヤ
- ⑤「働くお母ちゃん、お父ちゃん」「若者」とマニフェストづくり  
一緒に実現

- (9) 商品券より買物還元総額200億円、経済効果860億円  
消費拡大。買物金額の30%（消費税10%相当を超える3倍）  
をキャッシュバック。電子マネーを利用。ひとり2万円上限。  
利用総額200億円還元でキャッシュレスが普及し、非接触コロ  
ナ感染防止も一気に促進する。  
商品券2万円より経済効果、利便性大。経済効果は860億円。  
商品券と違い飲食だけでなく、衣料品、食料品など生活必需品も  
利用可能。  
お年寄りにも使いやすく。丁寧に説明、お年寄りもすぐに慣れる。  
スマホ普及率も急上昇する。浜松市等で実証済。  
敬老パス（マナカ）との連携等を目指す。  
スマホ普及率、キャッシュレス普及率No. 1ナゴヤになる。ス  
マホで市役所も加速し、アフターコロナ最先端都市ナゴヤへ。
- (10) 大学生の貧困対策  
コロナ禍で大学生の飢餓、貧困が問題に。食料品、生理用品等、  
生活用品の支援を検討。

令和3年4月9日

市政記者クラブ各位

河村たかし

## 河村たかしマニフェストについての追加説明につきまして

本日説明しました第二次マニフェスト「1 日本1コロナ対策」  
「(9) 商品券より買物還元総額200億円、経済効果860億円」の施策における財源について下記の通り追加説明を致します。

### 記

#### ①財源

- ・50億円×4年間で実施
- ・50億円は一般財源を充てる
- ・本経済対策による税収増、行政改革などで創出が十分に可能

#### ②本施策による効果

本施策により市民の皆さまへの還元、商業の皆さまへの経済対策（経済効果860億円）だけではなく、下記効果も見込まれナゴヤへの将来にわたる投資につながる。高齢者の皆さまがスマホに親しむ機会にもつながる。デジタルトランスフォーメーションは世界的な潮流であり、全世代においてICTに強い都市が実現することにより、世界に冠たるナゴヤへの大きな布石になる。

- ・キャッシュレス決済の普及によりコロナ接触感染防止対策促進
- ・名古屋市のスマホ、キャッシュレス決済普及率が飛躍的に高まる。特にキャッシュレス決済の普及は国家課題であり、日本における最先端都市ナゴヤの実現にもつながる
- ・高齢者においてもスマホ、キャッシュレス決済の普及が進む。高齢者へはこの施策を通してスマホの活用法等も積極的に講習を展開
- ・スマホ普及率が高まることで、行政サービス、民間事業者のサービスも多様化し、市民生活、市民経済のさらなる向上にもつながる

#### ③その他

- ・キャッシュバック仕様については今後検討していく

以上